

地球社会の一員として 宗教学法人「生長の家」〈布教・環境方針より〉

吾々人類に必要なことは、自然と人間を“別物”と考えて搾取の対象とするのではなく、大自然の恩恵に感謝し、山も川も草も木も鉱物もエネルギーもすべて神の生命（いのち）、仏の生命（いのち）の現れであると拝み、それと「共に生かさせていただく」という宗教心である。生長の家は、この宗教心にもとづく生活の実践こそ、地球規模の広がりをもつ現在の諸問題を解決する鍵であるとする。（中略）困窮する人類同胞の救援・支援を展開するものである。



大阪マラソン“クリーンUP”作戦 (2月11日)

2月11日(水・祝)、9時30分より約30分間、36名の方が集まり、東高津公園で清掃活動を行いました。

今回は、いつもの自治会や練成会などと違い、大阪マラソン“クリーンUP”作戦に参加しての清掃活動でした。これは2月22日に開催された「大阪マラソン2026」に合わせて、来阪される皆様にきれいな大阪で迎えると言う主旨で市民や各団体に募ったものです。市内の道路や公園など、日時(1月31日～2月20日の期間)と場所を選び、各団体が清掃活動を行う作戦でした。

当日は冷たい雨が降る中でしたが、傘を差しながらトンクを持ってのゴミ拾いは、また一つの体験と喜びを感じました。「生長の家大阪教化部」の名前が大阪市のホームページに掲載されていますので、後日ご覧になれます。参加された皆様、誠に有り難うございました。尚、他の取り組みとして、地元のクリーンウォーキング、フードバンク活動、更にPBSミニイベントも積極的に行われ、「地球社会貢献活動」が着実に前進していることを嬉しく思います。



大阪市一斉清掃イベント 大阪マラソン“クリーンUP”作戦参加!

道路際のごみを拾っていると通行人の方が、“雨の中有難う!”と嬉しい言葉を道かけて下さいました。嬉しかったです。(感謝)



大阪マラソン(2月22日)の様子



大阪上本町
近鉄百貨店
ビル前

きれいになった町でのマラソン

清掃参加者の声

- ・寒くて雨が降ったけど、その中でのゴミ拾い、気持ち良かった。
- ・公園はきれいだと思ったけれど、レジ袋などのごみが結構ありました。
- ・雨の中、初めてゴミ拾い、皆がいたので出来ました。
- ・建国記念の式典前にゴミ拾いをしたので、浄まった心で式典に参加する事が出来ました。



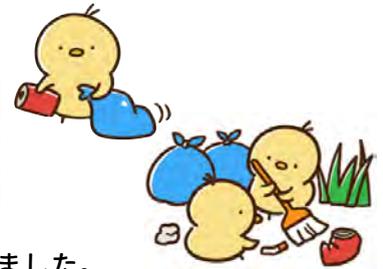
プラスチックのごみがいっぱい。



あ!ごみ!



雨の中きれいな梅の花も咲いていました。



クリーンウォーキング (1月20日)

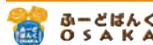
1月20日、和泉道場命日供養祭の終了後、道場横の今池公園の清掃をしました。皆さん笑顔でゴミを拾って下さり3袋以上のごみが拾えました。風は冷たいけど、心は暖かかったです。



空き缶がいっぱい



フードバンク活動 (1月28日)



1月28日にふーどばんく OSAKA の活動に行きました。寒い日でしたが、堺市(泉北、中百舌鳥、浅香)の施設を中心に寝本、住永、谷本の3人で食料品をお届けし、3件とも食料品の値上がりが続いている昨今、大変喜んで受け取って下さいました。また、教化部にお越しの皆様から寄付いただいた、フードドライブの食品もお渡ししました。(職員によるFacebook投稿より)

フードドライブ



今月はお餅、ラーメンなど、冬ならではの食品を沢山提供して頂き、お渡ししました。



“ふーどばんく OSAKA”の活動は右記QRコードよりホームページをご覧下さい。

